

「Society 5.0 科学博」に出展しました。

農地基盤情報研究領域農地基盤グループ上級研究員 若杉晃介

「Society 5.0 科学博」は、内閣府がオリンピック・パラリンピックの開催に合わせ、世界中から集まるマスコミや国内の小中学生を含む一般の方々、産業界などに向け、我が国の科学技術力を発信する場として企画されました。「Society 5.0」とは、サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）を目指すものです。本イベントは Society5.0 に向けた未来社会づくりに必要な、国の研究機関や企業などの先端的・独創的な技術を集結させ、科学技術の面白さや大事さを映像や実機を使ってわかりやすく紹介しています。

農村工学研究部門からは、「進化する技術と明日を～新しいモノづくりが支える暮らし～」というゾーンにおいて、「ICTを活用した圃場水管理システム」を出展致しました（写真は内覧会の様子）。

フィジカル展示では様々な実機を間近で見ることができますが、コロナ禍や遠方により会場に足を運べない方のためにオンラインによるサイバー展示も行っております。サイバー展示は9月5日まで開催されておりますので、ぜひとも下記のサイトをご覧ください。

▶ サイバー展示 URL : [Society5.0 科学博 \(society5expo.jp\)](https://society5expo.jp)



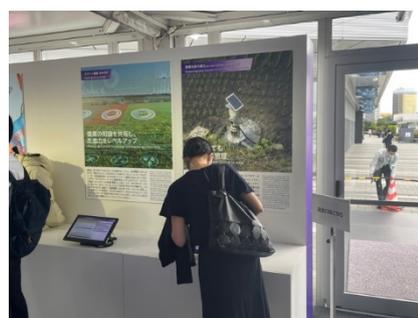
東京スカイツリー



地下鉄から会場への道のり
ではアトムがお出迎え



展示ブースの外観



展示状況（内覧会）